

算数科 一斉指導で教える「例題・類題・練習問題の解き方」

TOSS利の会代表/TOSSお江戸87の会 利田 勇樹 yuki.toshida@gmail.com

1 例題

2. 例題を解く



- ① すらすらと音読させる。
- ② 教科書から探させる。
- ③ 単元を貫くスキルを教える。

(向山洋一デジタルアーカイブ算数授業の方法 小数4年・小数のかけ算とわり算)

1 例題

例題「手本を示し型を教える」

例題とは「お手本」である。通常は一斉授業で扱う。お手本を示すことによって、問題を解くときの「型」を教えるのである。

(谷和樹の算数ベーシックスキル)



1.36L入りのポットが7本あります。
お湯は全部で何L入りますか？

2 類題

0.025×3 1.325×4を
ひっ算でしましょう。

- ① 説明しない。まずは解かせる。
- ② しばらく待つ。
- ③ 教師が答えを書いていく。

(向山洋一デジタルアーカイブ算数授業の方法 小数4年・小数のかけ算とわり算)

3 練習問題

- ① 4.28×2
- ② 0.012×6
- ③ 3.26×43
- ④ 0.336×625

- ① 教師が丸をつける。
- ② 列を作らせない。
- ③ 間違いを解説し、全体へ波及させる。
- ④ 子供が丸をつける。

(向山洋一デジタルアーカイブ算数授業の方法 小数4年・小数のかけ算とわり算)

2 類題「習ったやり方で解く」

「今習ったことを使って、次の問題を解いてみましょう」のようになる。習った「型」をもとにし、それをトレースすることによって解き方を確認するのである。したがって、お手本とかけ離れて難しいような問題では意味がない。

(谷和樹の算数ベーシックスキル)



3 練習問題「習ったことの習得」

類題までで得た「型」をもとに、様々なタイプの問題を解くことで、解き方を習得するのである。

(谷和樹の算数ベーシックスキル)

